



令和3年度目標達成シート

基本方針		令和3年度達成目標	成果と課題(評価指標の結果も含めた成果、分析、評価、課題、対応)
1 ミッション (1)芸術文化の創造・発信の拠点 東京の音楽・舞台芸術を代表する顔として長期的な視点にたった作品創造と国内外への発信 (2)人材育成の拠点 舞台芸術の現場をささえるプロフェッショナルの育成 (3)教育普及の拠点 次世代を担う子供たちへの本物の舞台芸術の伝達 (4)賑わいの拠点 芸術の香りのする、誰にとっても楽しく賑わいのある空間の創出	(1)音楽・舞台芸術表現の可能性を探求する劇場 国内外の良質なオーケストラ公演、吹奏楽公演、また質の高い演奏家によるリサイタルや、現代音楽のフェスティバルなど、未来の音楽シーンを創造する事業を開催し、コンサートホールのブランドを向上させる。また、世界主要都市の劇場及び著名演出家との共同制作、現代日本を代表する優れた舞台作品を東京から発信し、音楽・舞台芸術におけるわが国のプレゼンスを向上していく。	シアターオペラ「夕鶴」は現代的な演出で演劇・音楽両方の批評家から注目され、「声・アルルの女」は企画主旨が高く評価された。演劇では野田芸術監督の「フェイクスピア」が各紙の年末回顧でとりあげられた。コロナ禍にあって来日公演の多くは中止となったが、困難をおして演出家をフランスから招いた演劇「息子」は高い達成度を示し、今後の共同作業継続に道がひいた。海外公演については、4年度には演劇公演を計画している。オンライン配信は、演劇4本、音楽1本、レクチャー・ワークショップ32本、アクセス数5,200と、拡充した。	
	(2)絶えまなく力強い創造活動を行い、それを魅せる劇場 国内・国際共同制作の実施、国内外の大都市劇場と交流し共同事業の実施及び実験的な作品を含めた多彩な作品の創造をしていくほか、劇場ツアーを定期的に実施して、建物ばかりでなく、劇場の創作活動、人材育成・教育普及事業をPRする。	コロナ禍で、国際共同制作はシャイヨー劇場とのダンス公演が足止めをされたが、音楽はフィルハーモニー・ホールとの共同制作の交渉を継続中。また、台湾・韓国・シンガポールの名門劇場と国際共同制作に取り組む3年計画の「アジア・コネクション・プロデューサーズ・クリエイション」の準備に着手した。国内共同制作は1作品で、オペラ「夕鶴」が大きな成果を上げ話題を呼んだ。劇場ツアー、バックステージツアーは、オムリバーヤーにつき爆発的に回数を増やして36回を数え、550人が参加した。TACTやボンクリ、サラダ音楽祭などフェスティバル系は満足度90%以上、初来館率は30～60%コロナで上向きであった。コロナ状況で、特に国際的な事業はオンラインの実施などの備えをして公演の実施を確保することが今後も課題となる。	
	(3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う 東京芸術劇場の音楽教育事業、演劇人育成事業、制作者の研修コースの充実を図り、若手の集団に発表の機会を提供する。	音楽育成事業のウインド・アカデミーは、東京2020オリンピック・パラリンピック期間中に毎日都主催のイベント「サウンドオアシス」で芸劇内で生演奏を披露。年度末の自らの企画による卒団演奏会を経て6期生6名が卒団、うち2名が国内オーケストラに就職。東京演劇道場は第二期生を募集し、1000人の応募者から30人を選抜して総勢100名となった。制作者育成のアーティストアカデミーは、4人のうち3人がトップレベルの劇場・制作会社に就職を果たした。若手育成公演事業として5年ぶりに芸劇eyes番外編を実施し新進3劇団を抜擢、芸劇eyesなど共催・提携公演で若手3劇団の公演を行った。ボンクリでは、15名のアーティストを紹介し、若手に発表の場を与えた。	
	(4)初めて舞台芸術に触れる子供や大人にも親しめる作品の創造の提供 (5)誰もが自由に出入りでき、一流の文化・芸術の香りを持つ劇場 (6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場	評価指標 国内・国際共同制作事業数、劇場ツアー参加者数	TACTフェスティバルはコロナの影響によりほぼ中止となったが、サラダ音楽祭、ボンクリなどで、多世代の楽しめる作品を提供し、アンケートで「初めての来館」の回答を多数得た。0歳・4歳、こども落語などで、こどもたちに初めての劇場体験の場を提供できた他、東京のはら表現部やホワイトハンクコースのWS、視覚聴覚障害者への鑑賞サービス等社会包摂プログラムは計100回、参加1400人に拡充、セミナー参加者の満足度は97%を得た。紙配布物制限の世情からアンケートのQRコード化を進めているが未だ浸透せず、回収率が非常に低い。観客のフィードバックを有効に採る方策について海外の例なども調査して検討した。 (満足度) ●TACT 83% ●ボンクリ 100% ●サラダ 94% ●0才 94% (はじめての来館率) ●TACT 31% ●ボンクリ 0% (アンケート回答中) ●サラダ 37% (OKコンサート)・・・親子向け60%(メインコンサート)83%(ゴールド!)・・・こどものためのオペラ ●0才 61%
2 基本方針 (1)音楽・舞台芸術表現の可能性を探求する劇場 (2)絶えまなく力強い創造活動を行い、それを魅せる劇場 (3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う	(3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う 東京芸術劇場の音楽教育事業、演劇人育成事業、制作者の研修コースの充実を図り、若手の集団に発表の機会を提供する。	音楽育成事業のウインド・アカデミーは、東京2020オリンピック・パラリンピック期間中に毎日都主催のイベント「サウンドオアシス」で芸劇内で生演奏を披露。年度末の自らの企画による卒団演奏会を経て6期生6名が卒団、うち2名が国内オーケストラに就職。東京演劇道場は第二期生を募集し、1000人の応募者から30人を選抜して総勢100名となった。制作者育成のアーティストアカデミーは、4人のうち3人がトップレベルの劇場・制作会社に就職を果たした。若手育成公演事業として5年ぶりに芸劇eyes番外編を実施し新進3劇団を抜擢、芸劇eyesなど共催・提携公演で若手3劇団の公演を行った。ボンクリでは、15名のアーティストを紹介し、若手に発表の場を与えた。	
	(4)初めて舞台芸術に触れる子供や大人にも親しめる作品の創造の提供 (5)誰もが自由に出入りでき、一流の文化・芸術の香りを持つ劇場 (6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場	評価指標 若手劇団はeye's事業の参加劇回数、音楽系はボンクリでの若手アーティスト参加数、人材育成事業からのプロフェッショナル化の人数	TACTフェスティバルはコロナの影響によりほぼ中止となったが、サラダ音楽祭、ボンクリなどで、多世代の楽しめる作品を提供し、アンケートで「初めての来館」の回答を多数得た。0歳・4歳、こども落語などで、こどもたちに初めての劇場体験の場を提供できた他、東京のはら表現部やホワイトハンクコースのWS、視覚聴覚障害者への鑑賞サービス等社会包摂プログラムは計100回、参加1400人に拡充、セミナー参加者の満足度は97%を得た。紙配布物制限の世情からアンケートのQRコード化を進めているが未だ浸透せず、回収率が非常に低い。観客のフィードバックを有効に採る方策について海外の例なども調査して検討した。 (満足度) ●TACT 83% ●ボンクリ 100% ●サラダ 94% ●0才 94% (はじめての来館率) ●TACT 31% ●ボンクリ 0% (アンケート回答中) ●サラダ 37% (OKコンサート)・・・親子向け60%(メインコンサート)83%(ゴールド!)・・・こどものためのオペラ ●0才 61%
3 基本方針 (1)音楽・舞台芸術表現の可能性を探求する劇場 (2)絶えまなく力強い創造活動を行い、それを魅せる劇場 (3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う	(4)初めて舞台芸術に触れる子供や大人にも親しめる作品の創造の提供 多様な舞台作品の魅力を活かすべく、本物の舞台芸術に触れるのが初めてでも楽しめる工夫をする。	緊急事態宣言による休館の影響で稼働率と入場者数は戻っていないが、広い客層へのアピールに力を要した。野田芸術監督作品「フェイクスピア」は読売演劇賞の大賞と最優秀作品賞、「夕鶴」演出の岡田利規も優秀演出家賞を受賞、「冬のライオン」の演出で森新太郎が菊田一夫演劇賞の評価を得た。新シリーズ「VS」はショパンコンクール2位、4位入賞の快挙を果たした反田恭平・小林愛美が受賞までも共演するタイミーなどヒット企画となった。コンセルジュ的人材の育成企画「シアターコーディネーター講座」、研修生の発表による「eyes番外編」関連展示、こども落語終演後に親子参加のWSなど新たな取組も実施した。	
	(5)誰もが自由に出入りでき、一流の文化・芸術の香りを持つ劇場 芸術愛好家だけでなく、幅広い層に訴求するプログラムを用意する戦略的貸館と首都圏に数多く存在する実力ある劇団や楽団・制作団体との共催公演を実施できる劇場にするほか、劇場内で行われている公演についてレクチャーや楽しみ方のサポート(コンシェルジュ)をする。	評価指標 稼働率及び入場者総数、権威のある賞の獲得	芸劇の多彩な活動を毎日ツイッター発信し、SNSのフォロワー数は97.761に伸び、首都圏でもトップを走る。多文化共生事業は「やさしい日本語」講座など2件、社会包摂系事業は4件、レクチャー、ワークショップ、インター受け入れなど人材育成・教育普及系は15件と活発に展開した。グローバルリングと劇場前広場、アトリウム、ロウエ広場での活動は、コロナの状況も見据えつつ展開してきたいが、特にロウエ広場やアトリエのパフォーマンス対応は、案件によっては消防・保健所関係の手続きが必要。合法的かつ柔軟に対応していくこととする。
4 基本方針 (1)音楽・舞台芸術表現の可能性を探求する劇場 (2)絶えまなく力強い創造活動を行い、それを魅せる劇場 (3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う	(6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場 劇場前広場やアトリウム、ロウエ広場にコロナ禍の推移を慎重に注視しつつ将来的にマルシェ(市場)を創ることを想定(コロナ禍もあり令和3年度以降の検討の見込み)、物販からパフォーマンスアート等を交えて、新しい出逢いと好きを見つける場を提供するほか、自己表現できる空間を創出する。	緊急事態宣言による休館の影響で稼働率と入場者数は戻っていないが、広い客層へのアピールに力を要した。野田芸術監督作品「フェイクスピア」は読売演劇賞の大賞と最優秀作品賞、「夕鶴」演出の岡田利規も優秀演出家賞を受賞、「冬のライオン」の演出で森新太郎が菊田一夫演劇賞の評価を得た。新シリーズ「VS」はショパンコンクール2位、4位入賞の快挙を果たした反田恭平・小林愛美が受賞までも共演するタイミーなどヒット企画となった。コンセルジュ的人材の育成企画「シアターコーディネーター講座」、研修生の発表による「eyes番外編」関連展示、こども落語終演後に親子参加のWSなど新たな取組も実施した。	
	(4)初めて舞台芸術に触れる子供や大人にも親しめる作品の創造の提供 多様な舞台作品の魅力を活かすべく、本物の舞台芸術に触れるのが初めてでも楽しめる工夫をする。	評価指標 はじめて来館した人数・満足度、子供・若者の参加率、社会共生事業、福祉サービス事業の件数、参加者、満足度	緊急事態宣言による休館の影響で稼働率と入場者数は戻っていないが、広い客層へのアピールに力を要した。野田芸術監督作品「フェイクスピア」は読売演劇賞の大賞と最優秀作品賞、「夕鶴」演出の岡田利規も優秀演出家賞を受賞、「冬のライオン」の演出で森新太郎が菊田一夫演劇賞の評価を得た。新シリーズ「VS」はショパンコンクール2位、4位入賞の快挙を果たした反田恭平・小林愛美が受賞までも共演するタイミーなどヒット企画となった。コンセルジュ的人材の育成企画「シアターコーディネーター講座」、研修生の発表による「eyes番外編」関連展示、こども落語終演後に親子参加のWSなど新たな取組も実施した。
5 基本方針 (1)音楽・舞台芸術表現の可能性を探求する劇場 (2)絶えまなく力強い創造活動を行い、それを魅せる劇場 (3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う	(5)誰もが自由に出入りでき、一流の文化・芸術の香りを持つ劇場 芸術愛好家だけでなく、幅広い層に訴求するプログラムを用意する戦略的貸館と首都圏に数多く存在する実力ある劇団や楽団・制作団体との共催公演を実施できる劇場にするほか、劇場内で行われている公演についてレクチャーや楽しみ方のサポート(コンシェルジュ)をする。	緊急事態宣言による休館の影響で稼働率と入場者数は戻っていないが、広い客層へのアピールに力を要した。野田芸術監督作品「フェイクスピア」は読売演劇賞の大賞と最優秀作品賞、「夕鶴」演出の岡田利規も優秀演出家賞を受賞、「冬のライオン」の演出で森新太郎が菊田一夫演劇賞の評価を得た。新シリーズ「VS」はショパンコンクール2位、4位入賞の快挙を果たした反田恭平・小林愛美が受賞までも共演するタイミーなどヒット企画となった。コンセルジュ的人材の育成企画「シアターコーディネーター講座」、研修生の発表による「eyes番外編」関連展示、こども落語終演後に親子参加のWSなど新たな取組も実施した。	
	(6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場 劇場前広場やアトリウム、ロウエ広場にコロナ禍の推移を慎重に注視しつつ将来的にマルシェ(市場)を創ることを想定(コロナ禍もあり令和3年度以降の検討の見込み)、物販からパフォーマンスアート等を交えて、新しい出逢いと好きを見つける場を提供するほか、自己表現できる空間を創出する。	評価指標 劇場ツイッターのフォロワー数、多文化共生・社会包摂・人材育成系事業の件数	芸劇の多彩な活動を毎日ツイッター発信し、SNSのフォロワー数は97.761に伸び、首都圏でもトップを走る。多文化共生事業は「やさしい日本語」講座など2件、社会包摂系事業は4件、レクチャー、ワークショップ、インター受け入れなど人材育成・教育普及系は15件と活発に展開した。グローバルリングと劇場前広場、アトリウム、ロウエ広場での活動は、コロナの状況も見据えつつ展開してきたいが、特にロウエ広場やアトリエのパフォーマンス対応は、案件によっては消防・保健所関係の手続きが必要。合法的かつ柔軟に対応していくこととする。
6 基本方針 (1)音楽・舞台芸術表現の可能性を探求する劇場 (2)絶えまなく力強い創造活動を行い、それを魅せる劇場 (3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う	(6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場 劇場前広場やアトリウム、ロウエ広場にコロナ禍の推移を慎重に注視しつつ将来的にマルシェ(市場)を創ることを想定(コロナ禍もあり令和3年度以降の検討の見込み)、物販からパフォーマンスアート等を交えて、新しい出逢いと好きを見つける場を提供するほか、自己表現できる空間を創出する。	緊急事態宣言による休館の影響で稼働率と入場者数は戻っていないが、広い客層へのアピールに力を要した。野田芸術監督作品「フェイクスピア」は読売演劇賞の大賞と最優秀作品賞、「夕鶴」演出の岡田利規も優秀演出家賞を受賞、「冬のライオン」の演出で森新太郎が菊田一夫演劇賞の評価を得た。新シリーズ「VS」はショパンコンクール2位、4位入賞の快挙を果たした反田恭平・小林愛美が受賞までも共演するタイミーなどヒット企画となった。コンセルジュ的人材の育成企画「シアターコーディネーター講座」、研修生の発表による「eyes番外編」関連展示、こども落語終演後に親子参加のWSなど新たな取組も実施した。	
	(6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場 劇場前広場やアトリウム、ロウエ広場にコロナ禍の推移を慎重に注視しつつ将来的にマルシェ(市場)を創ることを想定(コロナ禍もあり令和3年度以降の検討の見込み)、物販からパフォーマンスアート等を交えて、新しい出逢いと好きを見つける場を提供するほか、自己表現できる空間を創出する。	評価指標 劇場ツイッターのフォロワー数、多文化共生・社会包摂・人材育成系事業の件数	芸劇の多彩な活動を毎日ツイッター発信し、SNSのフォロワー数は97.761に伸び、首都圏でもトップを走る。多文化共生事業は「やさしい日本語」講座など2件、社会包摂系事業は4件、レクチャー、ワークショップ、インター受け入れなど人材育成・教育普及系は15件と活発に展開した。グローバルリングと劇場前広場、アトリウム、ロウエ広場での活動は、コロナの状況も見据えつつ展開してきたいが、特にロウエ広場やアトリエのパフォーマンス対応は、案件によっては消防・保健所関係の手続きが必要。合法的かつ柔軟に対応していくこととする。
7 基本方針 (1)音楽・舞台芸術表現の可能性を探求する劇場 (2)絶えまなく力強い創造活動を行い、それを魅せる劇場 (3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う	(6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場 劇場前広場やアトリウム、ロウエ広場にコロナ禍の推移を慎重に注視しつつ将来的にマルシェ(市場)を創ることを想定(コロナ禍もあり令和3年度以降の検討の見込み)、物販からパフォーマンスアート等を交えて、新しい出逢いと好きを見つける場を提供するほか、自己表現できる空間を創出する。	緊急事態宣言による休館の影響で稼働率と入場者数は戻っていないが、広い客層へのアピールに力を要した。野田芸術監督作品「フェイクスピア」は読売演劇賞の大賞と最優秀作品賞、「夕鶴」演出の岡田利規も優秀演出家賞を受賞、「冬のライオン」の演出で森新太郎が菊田一夫演劇賞の評価を得た。新シリーズ「VS」はショパンコンクール2位、4位入賞の快挙を果たした反田恭平・小林愛美が受賞までも共演するタイミーなどヒット企画となった。コンセルジュ的人材の育成企画「シアターコーディネーター講座」、研修生の発表による「eyes番外編」関連展示、こども落語終演後に親子参加のWSなど新たな取組も実施した。	
	(6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場 劇場前広場やアトリウム、ロウエ広場にコロナ禍の推移を慎重に注視しつつ将来的にマルシェ(市場)を創ることを想定(コロナ禍もあり令和3年度以降の検討の見込み)、物販からパフォーマンスアート等を交えて、新しい出逢いと好きを見つける場を提供するほか、自己表現できる空間を創出する。	評価指標 劇場ツイッターのフォロワー数、多文化共生・社会包摂・人材育成系事業の件数	芸劇の多彩な活動を毎日ツイッター発信し、SNSのフォロワー数は97.761に伸び、首都圏でもトップを走る。多文化共生事業は「やさしい日本語」講座など2件、社会包摂系事業は4件、レクチャー、ワークショップ、インター受け入れなど人材育成・教育普及系は15件と活発に展開した。グローバルリングと劇場前広場、アトリウム、ロウエ広場での活動は、コロナの状況も見据えつつ展開してきたいが、特にロウエ広場やアトリエのパフォーマンス対応は、案件によっては消防・保健所関係の手続きが必要。合法的かつ柔軟に対応していくこととする。
8 基本方針 (1)音楽・舞台芸術表現の可能性を探求する劇場 (2)絶えまなく力強い創造活動を行い、それを魅せる劇場 (3)若手アーティストに場所を提供し、共に創造発信を行う	(6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場 劇場前広場やアトリウム、ロウエ広場にコロナ禍の推移を慎重に注視しつつ将来的にマルシェ(市場)を創ることを想定(コロナ禍もあり令和3年度以降の検討の見込み)、物販からパフォーマンスアート等を交えて、新しい出逢いと好きを見つける場を提供するほか、自己表現できる空間を創出する。	緊急事態宣言による休館の影響で稼働率と入場者数は戻っていないが、広い客層へのアピールに力を要した。野田芸術監督作品「フェイクスピア」は読売演劇賞の大賞と最優秀作品賞、「夕鶴」演出の岡田利規も優秀演出家賞を受賞、「冬のライオン」の演出で森新太郎が菊田一夫演劇賞の評価を得た。新シリーズ「VS」はショパンコンクール2位、4位入賞の快挙を果たした反田恭平・小林愛美が受賞までも共演するタイミーなどヒット企画となった。コンセルジュ的人材の育成企画「シアターコーディネーター講座」、研修生の発表による「eyes番外編」関連展示、こども落語終演後に親子参加のWSなど新たな取組も実施した。	
	(6)日常的に新しい発見に出逢うことができ、ワクワクする感性に働かせる劇場 劇場前広場やアトリウム、ロウエ広場にコロナ禍の推移を慎重に注視しつつ将来的にマルシェ(市場)を創ることを想定(コロナ禍もあり令和3年度以降の検討の見込み)、物販からパフォーマンスアート等を交えて、新しい出逢いと好きを見つける場を提供するほか、自己表現できる空間を創出する。	評価指標 劇場ツイッターのフォロワー数、多文化共生・社会包摂・人材育成系事業の件数	芸劇の多彩な活動を毎日ツイッター発信し、SNSのフォロワー数は97.761に伸び、首都圏でもトップを走る。多文化共生事業は「やさしい日本語」講座など2件、社会包摂系事業は4件、レクチャー、ワークショップ、インター受け入れなど人材育成・教育普及系は15件と活発に展開した。グローバルリングと劇場前広場、アトリウム、ロウエ広場での活動は、コロナの状況も見据えつつ展開してきたいが、特にロウエ広場やアトリエのパフォーマンス対応は、案件によっては消防・保健所関係の手続きが必要。合法的かつ柔軟に対応していくこととする。
総合的な所見(自己評価の総評)			
R3年度も、緊急事態宣言、まん延防止、リバウンド防止などの措置が出され、春には2週間強の休館もあり、コロナ禍に対応した運営が続いた。R2年度に立ち上げた緊急事態舞台芸術ネットワークやクラシックス音楽公演運営推進協議会が中心となって、イベント制限は徐々に緩和されたが、お客様の控除、買い控えは、ほぼ1年間続いた。水際対策も厳しくなると、海外からの招聘もほぼ叶わず、ようやく3月になって緩和が始まったところである。7月23日から9月5日までのオリパラ期間中には、手荷物検査を約12万人の来館者に実施。また、江戸本通り、伝統芸能、芸劇ウィンドのアトリウムコンサートを毎日実施した。そのような状況の中、チケット収入減少を補うために、J-Live助成金を「バンドラ」息子」の2事業で約5,000万円獲得、最終的に収支相償を達成した。事業内容についても、別記のとおり、いくつもの賞を獲得し、業界からだけでなく、多くの人々から評価された。また、店舗については、空きスペースとなっていた2階カフェ部分を確保し、NHKの協力を得て芸劇で収録した8K作品を鑑賞できる「8Kリビングシアター」を設置し、来館者に新たな芸術体験を提供した。下半期に、店舗全体の企画コンペを実施し、R4年度はこのスペースに新たなカフェが入る。年度末に策定された「東京文化戦略2030」を受け、政策連携団体のひとつとして、都主催の大規模フェスティバルの中核となり、地域とも連携し、芸劇が芸術文化のハブとしての役割を担っていくよう、運営していきたい。			
外部評価 評価結果		総合的な意見(総評)	
A		○令和3年度は、取束の予測のつかないコロナ禍への対応を余儀なくされた中で、劇場業務についても、企画制作、営業、技術、運営管理等、ほぼすべての業務項目について個別の対応策が必要とされた。劇場の各部門が現場での対応で創意を発揮し、全体としても、また個別の場面においても、最善と考えられる各種の対応を行ったことが本報告書の自己評価の記述から読み取れる。それだけではなく、コロナ禍で劇場などの集客施設への打撃がひどく大きかったため、アート分野全体としての危機対応こそが緊急的に最も重要視されるべきでもあったと言える。この点において、緊急事態舞台芸術ネットワークやJ-Liveの発足と駆動に当たって芸劇が他に替えがたい重要な貢献を行ったことを十分に認識しておく必要がある。芸劇は、コロナ禍への取り組みにおいて、東京都の今後の文化政策の重要な一翼を担う基幹文化施設としての存在感を十分に示し得たと評価できる。	
B: 目標を十分に達成し、成果を上げている A: 目標を概ね達成している C: 目標を十分に達成しておらず、改善が必要である		○客席の上階の階段の手すり設置に関しては細かい配慮をお願い致した。当劇場の上階の階段の落差は他のホールにも非常に大きいと思われるので。 ○コロナ禍は続いたものの、音楽、演劇共に創造的・挑戦的な舞台芸術を発信し、いくつもの受賞の獲得も含めて高い評価を得た。オンライン配信にも力を注いだ結果、アクセス数5,200となった。バックステージツアーや、空きスペースとなっていた2階カフェでの「8Kリビングシアター」による新しい芸術体験などの積極的な工夫でも成果を上げた。 また、公共施設の役割として大切な、若手プロ育成、子どもたちへの本物芸術体験、社会包摂系事業の実績も評価したい。	